

# 伊万里 市議会だより

## 第14号

平成17年  
(2005年) 8月



**きょうはとっても楽しいね!** (「田んぼの学校」大川内小学校・6月)

6月補正後の予算  
一般会計：187億7293万円  
(対前年度同期△20億8,179万円、△10.0%)

### 今回の記事・企画

- ◆定例会会期日程・議案質疑など……………2
- ◆定例会議案と審議結果……………3
- ◆常任委員会報告……………4~5
- ◆特別委員会報告・議会運営委員会報告……………6
- ◆一般質問事項……………7
- ◆一般質問……………8~11
- ◆議会改革あれこれ・編集後記……………12

## 平成17年伊万里市議会第2回定例会 会期日程

6月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
6(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等34件・・・一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
9(木)	本会議	議案等に対する質疑
10(金)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
13(月)	本会議	一般市政に対する質問
14(火)	本会議	一般市政に対する質問
15(水)	本会議	一般市政に対する質問
16(木)	休会	常任委員会
17(金)	休会	常任委員会
20(月)	休会	正副委員長会
22(水)	本会議	決議案、意見書案の上程 決議案、意見書案の提案理由説明 決議案、意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 閉会

## 議会ホットコーナー

### ◎5月臨時会

私たちの任期も後半を迎え、申し合わせ等により議会人事の交代がありました。

- ・副議長：島田布弘議員
- ・議会選出監査委員：岩本盛房議員

※常任委員会・議会運営委員会の構成については、各報告をご参照ください。

### ◎全国市議会議長会 永年勤続表彰

- ・勤続10年以上：占野議員
- ・正副議長4年以上：黒川議長



定例会会期日程・議案質疑など

## 議案質疑

### ■夜間小児診療について(臨時会分)

**質問** 医師会のご協力により、休日急患センターでスタートするのは幸いだが、土・日休診は残念。また、当センター前の歩道は段差があり、夜間の車の出入りには不便。改善すべきだ。

**答弁** 市民部長

医師会(小児科医・内科医)のご協力で実現できた。当面は20人に交代で月1回ずつ担当して頂き、1年間様子を見てから再度検討することとしている。歩道段差については改善する。

### ■指定管理者制度について

**質問** 先進各地の条例をみると、「首長・議員が代表を務める団体は指定管理者になることができない」との兼業禁止を明記しているところが増えつつある。透明性確保のためにもこの条文を入れるべきではないか。

**答弁** 政策経営部長

「契約」ではないので、法解釈上兼業禁止は適用されないが、公の施設を公平に運営してもらうためには、原則として除外すべきだろうと思う。ただ、どうしてもそのような団体しか無かった場合の問題もあり、検討を要するとの判断から今回は明記しなかった。

### ■地震被害の把握について

**質問** 今回の予算で、市民会館など3ヶ所の修繕費用が出されている。ガラスの被害等は既決予算で対応されているが、市民に迷惑がかららないよう、公共施設の点検は再度行い、対応してほしい。

**答弁** 政策経営部長

修繕費はトータルで11施設分の190万円となる。まだ目に見えないが地震の影響がでているものがあるかも知れないので、各部署に再度の点検をしてもらい、緊急度の判断をしてお応じしたい。

## 次のことを審議し決定しました

議案番号	提 出 案 件	議 決
議案第62号	伊万里市条例のよう音及び促音の表記に関する条例制定	可決(◎)
議案第63号	伊万里市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定	可決(◎)
議案第64号	伊万里市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例制定	可決(◎)
議案第65号	伊万里市夢耕房たきの条例制定	可決(◎)
議案第66号	伊万里市海のシルクロード館条例制定	可決(◎)
議案第67号	伊万里市市営駐車場条例制定	可決(◎)
議案第68号	地籍調査事業の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決(◎)
議案第69号	伊万里市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第70号	伊万里市老人憩の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第71号	伊万里市障害児発達支援センター条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第72号	伊万里市休日急患医療センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第73号	伊万里市林業研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第74号	伊万里市木工芸センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第75号	伊万里市城Ⅱ灌漑揚水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第76号	伊万里市工場等の設置奨励に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第77号	伊万里市大川内山キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第78号	伊万里・有田焼伝統産業会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第79号	伊万里市公有水面使用料及び産物採取料等徴収条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第80号	伊万里市税条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第81号	伊万里市消防事務手数料条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第82号	伊万里市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第83号	伊万里市ゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第84号	伊万里市文化財保護条例の一部を改正する条例制定	可決(◎)
議案第85号	損害賠償の額の決定及び和解	可決(◎)
議案第86号	伊万里・北松地域広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	可決(◎)
議案第87号	伊万里市公平委員会委員の選任	同意(◎)
議案第88号	平成17年度伊万里市一般会計補正予算(第2号)	可決(◎)
議案第89号	平成17年度伊万里市国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)	可決(◎)
議会議案第2号	特別委員会設置に関する決議案の提出	可決(◎)
意見書第1号	地方六団体改革案の早期実現に関する意見書の提出	可決(◎)
意見書第2号	ウエルサンピア伊万里の存続を求める意見書の提出	可決(◎)
意見書第3号	道路特定財源の確保に関する意見書の提出	可決(◎)
意見書第4号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書の提出	可決(◎)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	異議なし
報告第2号	専決処分の報告(損害賠償の額を定めること)	
報告第3号	平成16年度伊万里市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	
報告第4号	平成16年度伊万里市公共下水道事業特別会計継続費繰越計算書の報告	
報告第5号	平成16年度伊万里市土地開発公社決算の報告	
報告第6号	平成17年度伊万里市土地開発公社事業計画の報告	

〈◎は全会一致、○は賛成多数〉



## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

付託された条例議案6件、一般議案1件および補正予算議案1件について審査を行い、全議案とも原案のとおり可決すべきものと決定しました。今回可決された議案は7月初めには「広報いまり」等でお知らせをされ、既にご存知かと思いますが審議した議案の一部を報告します。

### 伊万里市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例制定について

平成15年9月の改正地方自治法の施行により、(体育施設、文化施設、社会福祉施設、観光施設等)「公の施設」の管理運営に指定管理者制度が導入され、従来公共団体等に限定されていた施設の管理運営について、民間業者も含めた幅広い団体に委ねることになりました。これにより、管理委託をしている「公の施設」については、施行日から3年以内(平

成18年9月1日まで)に、原則として指定管理者制度に移行することになり、今回は手続き等に関する条例制定と制度導入に係る13施設の一部条例改正を行っています。

補正予算関係では、新エネルギー導入の可能性調査やビジョン作成、ふるさと葉膳メニューと加工品開発事業の拡充、地震で亀裂が生じた市民会館の床補修、流通や販売等専門的な知識による伊万里ブランドの海外販路を確立するための事業等が実施されます。



地震による亀裂(市民会館客席の床)

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 謙  
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

## 文教厚生委員会

★所管 市民部(保健・福祉・環境・人権同和)、教育委員会、市民病院

付託された、条例案7件、補正予算案2件(一般会計、国民健康病院事業特別会計)、損害賠償の額の決定及び和解の議案について審査の結果、可決すべきものと決定しました。

条例改正案の主なものは、法改正により来年度以降に予定する「指定管理者制度」導入準備のためのものです。今回は第1弾として、老人福祉センター、老人憩いの家(3ヶ所)、障害児発達支援センター(ひまわり園)、休日急患医療センター、市ゲートボール場(8ヶ所)が対象です。今後、原則的には公募・審査・庁内決定がなされ、12月議会で可決されて正式な決定となります。当委員会では、所管する施設のほとんどが市民の日常生活に密接な関わりを持つため、公募するかどうかの判断とその選定にあたっては、手続きの透明性確保とともに、可能な限り専門的知識や経

験を有する者の意見を聞くなど、慎重な対応をするよう求めました。また、3/20の地震で被害を受け、保存会が修復された大川内山の岳神社と、老人福祉センターを視察しました。

議案外所管事項として、クレー射撃場の運営と今後の対応策、学校給食センターの進捗状況、市内小中学校に係る不審者情報、「その他プラスチック」の分別回収、休日急患医療センターの運営状況などについて説明を求め、出された資料をもとに委員間で議論しました。



きれいに修復された岳神社拝殿(大川内山)

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一  
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

### 産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

6月定例議会で、当委員会に付託された議案は、条例関係9件、一般会計補正予算1件（歳出第6款農林水産業費および第7款商工費）でありましたが、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

条例の制定及び改正については、市の施設の管理を、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、指定管理者に行わせる制度を導入することに伴い、次の施設

- 1 夢耕房たきの
- 2 海のシルクロード館
- 3 市営駐車場
- 4 林業研修センター
- 5 木工芸センター（ピノキオの家）
- 6 城Ⅱ灌漑揚水施設
- 7 大川内山キャンプ場
- 8 伊万里・有田焼伝統産業会館

に適用することと、工場等を新・増設する場合に税の優遇措置をする業種に半島振興法の

改正に伴い、新たに「旅館業」を追加するものであります。

補正予算について主なものは、農業振興費で、環境現況等資源保全実態調査を行う経費63万2千円、商工業振興費で伊万里川河畔屋台村開設に対する補助金30万円を追加するものであります。

なお、議案等に関係する、伊万里川河畔屋台村開設予定場所及びウエルサンピア伊万里、松浦の里の現地調査を行いました。



今回改修される銀天街

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟  
笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

### 建設委員会

★所管 建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案1件、補正予算2件について慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条例議案第79号「伊万里市公有水面使用料及び産物採取料等徴収条例の一部を改正する条例制定について」は、佐賀県公有水面管理条例が廃止されたことに伴い、所要の条文整備を行うものです。

補正予算の主なものは、地方特定道路整備事業として2千5,556千円計上されており、銀天街アーケードの撤去に伴い、市道本町通り線の舗装工事等を行うものとの説明を受けました。

また、現地調査を行い、平成18年に一部供用開始が計画されている伊万里ファミリーパーク（仮称）の進捗状況等について調査を行いました。

さらに、今回補正予算に計上されている銀天街アーケードの状況、第9次拡張事業の井

手口川ダム、県道黒川・松島線、市道大坪・木須線の現地調査を行い、現在の進捗状況、今後の計画について説明を受けました。



白野川を横断するアーチカルバート

（工事中の市道 大坪・木須線が点線のように通る予定です）

◎福田 喜一 ○満江 洋介 島田 布弘 前田儀三郎  
占野 秀男 田中 啓三 岩本 盛房

## 議会運営委員会

前半の2年間で議会改革について検討・実施してきましたが、後半はこのメンバーで新たな課題に挑戦します。時同じくして、全国市議会議長会からも議会運営の改革について提言がなされており、「旧来の慣習」に固執せず、見直せるものは何かを見極めるところから始めたいと考えています。手始めに、7月12日～14日に他市議会（山口県防府市・柳井市、広島県大竹市）の議会運営に関して行政視察を予定しています。

◎原口 弘、○盛 泰子、草野 譲、渡邊英洋、貞方喜延、前田儀三郎、占野秀男、岩橋紀行

今年度は、次の特別委員会・検討委員会を設置し、閉会中にも審査を行う予定です。

### 交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

市民生活の向上や地域経済の活性化、企業誘致を図るうえで不可欠な高規格道路等の社会資本整備について調査活動を行う。

◎前田教一、○山田悟、山崎秀明、岡口重文、内山泰宏、樋渡伊助、岩本盛房、満江洋介、福田喜一

### 地域医療整備対策調査特別委員会

中核的病院に対する住民の期待とともに、公的病院のあり方が問われている中、自治体病院の将来像を明確にするため、医療環境整備に関する調査活動を行う。

◎下平美代、○前田久年、樋渡雅純、川内学、堀良夫、高木久彦、笠原義久、田中啓三、浜野義則

### 議員定数等議会改革検討委員会（会期ごとの人数割で選出）

議員定数、議員報酬、政務調査費の3点について、調査活動を行う。

◎岩橋紀行、○占野秀男、草野譲、渡邊英洋、貞方喜延、岡口重文、田中啓三、下平美代、浜野義則

## 一部事務組合議員の改選

★伊万里・有田地区特別養護老人ホーム議会議員（西有田町所在「特老くにみ」の管理運営機関）：川内学、下平美代、樋渡伊助、岩本盛房

★伊万里・有田地区衛生組合議会議員（火葬場「やすらぎ斎苑」・し尿等処理施設の管理運営機関）：黒川通信、前田久年、貞方喜延、前田儀三郎、内山泰宏、堀良夫、岩橋紀行、田中啓三



# 一 般 質 問 (質問順)

## 一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
笠原 義久 (総括)	1. 2007年高校総体ホッケー競技開催に向けて、伊万里市の対応について 2. 公務に於ける市職員マイカー使用の現状について	高木 久彦 (一問一答)	1. 福岡県西方沖地震発生に伴う諸問題について (1) 電話回線不通時の情報伝達について (2) 本市の震度公表について 2. 市民病院の今後の方向について (1) 社会保険浦之崎病院との統合について (2) 市民病院としての充実について
前田儀三郎 (総括)	1. セラミック道路についての市の対応は	占野秀男 (総括)	1. 老人福祉センター、老人憩いの家の改修計画(古くて問題がある所)について 2. 防災パトロール実施に伴う防災対策と予算化 3. 市財政運営のあり方について
盛 泰子 (一問一答)	1. 教育環境の充実について (1) 留守家庭児童クラブの現状 (2) 学校からの要望事項と優先順位の公表 (3) 政策枠として考えるべきではないか 2. 国勢調査について (1) 過去の調査における問題点 (2) 今年の調査へ向けて 3. 緊急時の情報共有について (1) ホームページ携帯サイトの開設、メール配信 4. 県立病院移転問題について (1) 市は傍観者で良いのか	内山 泰宏 (総括)	1. 学校内・登下校時の侵入者・不審者に対する安全対策について (1) 見守り隊など地域の支援 (2) 予防・緊急時の携帯電話、インターネットを利用した保護者との連絡方法 2. 「国史跡指定・大川内鍋島窯跡」の保存管理計画策定および「めぐそう世界遺産 日本の秘窯・大川内山」の課題について (1) 大川内山窯元周辺における情報発信、展示等の拠点の設置について
山崎 秀明 (一問一答)	1. 地域裁量型予算の配分について (1) 各地域の行政需要はどのようにして把握されているのか (2) 予算審査の公開ができないか (3) 地域の自主的な予算執行ができないか 2. 農業特産品の産地維持拡大について (1) 具体的な維持振興策はどのように考えられているか (2) 意欲的な経営者に対する支援方策はどのように考えられているか	川内 学 (総括)	1. 中山間地域等直接支払制度について (1) 今後のスケジュールと全体会議をどう進めていくのか (2) 今までとの主な点の違い (3) 集落協定地が取り組んでいる状況について 2. 伊万里港港湾計画改訂について (1) 久原北地区水面貯木場について (2) 浦之崎地区廃棄物処理用地について 3. 本市の市営住宅について (1) 久原、楠久第2市営住宅の現状と課題について
樋渡伊助 (総括)	1. 第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会について 2. 市道認定基準の見直しについて	樋渡 雅純 (一問一答)	1. 色覚(カラー)バリアフリーについて (1) 色覚障害の実態について (2) 対策の方向性 2. 「人と情報を結ぶ」これからの図書館 (1) 情報拠点としての基本的考え方 (2) 各種資料の充実について (3) 多様なサービス提供について 3. スクールアドバイザー(カウンセラー)の活用推進について (1) 配置状況と活動内容について (2) 教育相談の充実について
原口 弘 (総括)	1. 市民病院の診療サービスについて 2. 西方沖地震の防災対策にどう市は対応するのか 3. 下水道マスタープランについて(公共下水、集落排水、合併浄化等)		
下平 美代 (一問一答)	1. タウンミーティング(大川内町)での市民の声に対するその後の市の対応について 2. 捕獲されたイノシシの確認方法について		

一般質問

二〇〇七年高校  
総体開催に向けて

笠原 義久

**質問** ホッケー競技伊万里開催が決定している。大会は国体をしのぐ規模であり、体制を整える今が時期ととらえるが市の対応は。

**答弁** 教育部長

市内52の諸団体に働きかけ県内ではトップを切って実行委員会を設立し、万全の体制を作っていく。

**質問** 競技施設は原則天然又は人工芝となっているが対応は。

**答弁** 教育部長

人工芝は無理でも天然芝は県と協議していく。

**質問** 一人ももの来訪者に対して市をアピールする絶好の機会としてとらえるが対応は。

**答弁** 教育部長

市内の施設に一人でも多く宿泊してもらいたい。高校生を主に多くの市民との交流の場を作り、市を理解してもらおう様に努力する。

市職員のマイカー  
使用状況について

**質問** 公務中の職員のマイカー使用はなぜか。

**答弁** 総務部長

使用要項を作成している。公用車を優先すべきであるが事前申請があればマイカー使用を認めている。

**質問** 近距離の場合、許可なくマイカーが使用されている。職員の善意の行為に依存しているのでは。

**答弁** 総務部長

公用車使用を優先させる。

セラミック道  
路について

前田儀三郎

**質問** 平成8年4月に一般県道伊万里・有田線に認定されてから9年の月日が経つがいまだにルートも決定していない現状であるが、

地元の要望は有田川右岸に国道202号のバイパス的役割に幹線道路が必要であるとの認識で要望活動を行ってきた。市の取り組みは。

**答弁** 建設部長

経過について、一市二町



教育環境の  
充実

盛 泰子

**質問** 留守家庭児童クラブには数々の問題点がある。立花クラブでは待機児童もあり、市の長期計画に明記されている専用施設建設が必要状況にある。東山代クラブでは室内にトイレが無く、悪天候の日には大変不便。改善を。

**答弁** 教育部長・市長

どちらも必要性は認識している。国・県の補助が新設クラブ優先となっているために立花が後回しになってきた。補助を得られるよう努力する。東山代のトイレは学校と改善方法を協議して対処する。

県立病院移転問題

**質問** まるで「佐賀市立病院移転問題」のような議論がなされている。伊万里市は傍観者で良いのか。

**答弁** 市長

現在の2候補地では伊万里市からは余り違いがない。県立病院の役割からし

て、基本的には「広域医療」の視点が重要であり、その中から位置も決定してほしいと思う。

国勢調査

**質問** 今年調査年。プライバシー保護の観点から、対象となる市民も、調査員も、市の職員も苦悩する。

①これまでの状況は②法律で決まっている事だが、調査内容に疑問が多い。調査後に調査員から問題点を出示してもらい現状を国に訴え、制度変更を求めるべきだ。

**答弁** 情報広報課長

①近年、拒否世帯が増加し前回はそのフォローのために職員が延べ500回訪問した。②調査員からの意見聴取はしていなかったのだ、そのようにしたい。

地域裁量予算の  
配分について

山崎 秀明

**質問** 今後のタウンミーティングの開催方法は、枠配分方式、インセンティブ予



一般質問

算編成の方針の中で、市長復活査定を公開できないか。また、地域行政に密着した行動を支援するための地域裁量型予算の配分ができないか。

答弁 市長

夜の出前市長のような形で意見を聞く側に回りたい。地域の発展に尽くされたことや地域の誇りを掘り起こしたい。また、若い世代の意見を聞きたい。開催時期は調整中。

答弁 助役・政策経営部長

厳しい財政状況のもとでの編成作業であり事業の取捨選択となる。提案、要望について個々の利害に関わることを目前で協議することになり、市全体の大事な審議に支障をきたすので現状では困難である。今後、予算編成過程を文書化したものを研究したい。

答弁 政策経営部長

各地域の特色を生かした事業実施で活性化を図る。使途を制限しない予算の要請であるが、今以上の補助金の創設は困難である。

農業特産品の産地維持拡大について

質問 伊万里ブランドとし

て定着している施設キュウリの産地維持対策と意欲的な経営者に対する支援方法はないか。

答弁 産業部長

13年度以降JA施設キュウリ部会に省力機械導入、施設整備の支援をしている。露地キュウリと有機的に結合させ市場に物が言える産地育成に努める。また他作目との複合経営を進める農家を支援する。

第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会について

樋渡 伊助

質問 この大会は来年3月伊万里市で開催が決定しているが、市の支援策について。

答弁 教育部長

①式典の企画等の支援、②大会会場までの選手の輸送、③宿泊施設の確保については、旅行者を通して確保したい。

質問 大会会場に国見台球技場が決定しているが、競技に支障をきたす恐れがある。大会前に整備する考えはないか。

答弁 市長

球技場の全面的な改修は出来ないが、現状では大会に支障があるので、フラット(平坦)の確保をしていきたい。ホッケー会場とも関連があるので、県に対し財政的な支援について、今後、協議していきたい。

質問 市道認定基準の見直しについて、市制施行から今日までの市道総延長等の変遷について、また、①市道認定基準幅員4m以上はいつからか。②その根拠は。

③4m未満の市道総延長は。 29年市道認定は794・2km、17年4月現在918・5km。①58年11月から市道認定基準要綱による。②根拠は建築基準法による。③総延長のうち、565・9kmで全体の61・6%を占めている。

答弁 建設部長

質問 4m未満の市道が61%以上あり、認定基準との整合性がないのでは。

答弁 市長

地域の現状を勘案し、4m未満でも認定出来るよう要綱の変更をしたい。

市民病院の診療について

原口 弘

質問 病院事業におけるご努力に対してはお礼申し上げます。診療時間を午後まで延長出来ないか、また勤務体制等は。

答弁 市民病院事務長

医師の勤務体制は日勤、宿日直勤務と、院長はじめ医局全員でローテーションを組んでいる。

質問 或る病院の紹介だが、私は咳とたんがひどく国立病院で加療中だったが好転せず、県外の耳鼻科へ転院通院中。そこは再来受付が午前0時〜午後5時半と稀な体制であり、公的病院でも見直しの検討が出来ないか。

答弁 市民病院事務長 特定患者対象の専門外来について今後の検討課題と考える。

西方沖地震と防災対策は

質問 市の震度報告が無いことについて問合せが殺到し、市民の不安解消に早期

発表の対応を望む。 答弁 総務部長

市民からの問合せには、市のホームページや広報に掲載した。

質問 震度計は300万程度との事、単独費でも付け不安解消に努めるべきではないか。

答弁

県から気象庁等に対し震度計の取替要望中。しばらく時間がかかりそうである。

下水道プランについて

質問 3月の汚水処理総合計画発表後の見直しは。

答弁 建設部長

今回の計画では浄化槽設置は対象戸数の増加がみられる。

質問 松浦地区農業集落排水事業の前倒し計画は。

答弁 建設部長

平成28年に計画をしている。



一般質問

タウンミーティング(大川内町)での市民の声に対する市の対応について

下平 美代

**質問** 射撃場に対する大川内町民の要望は①閉鎖をして鉛を除去する。②水質、土壌検査の結果を公表する、である。

**答弁** 教育部長

人体に影響が出るような数値になれば閉鎖しなければならぬ。射撃協会の人と話し合いを6月6日開いた。協会の人からは市長に対して存続してほしいとの署名提出があつて(市外含5114人)いるが、更に首長としての決断はどの時点であるか。

**質問** 地元との協議会は開くと答弁したままになつていないが、更に首長としての決断はどの時点であるか。

**答弁**

地元との協議会は当然持つべきと思う。現時点では決断の前提条件が揃つていないとは思えない。

**質問** 大川内に鍋島美術館を。

**答弁** 教育部長

財政上から新たな美術館は困難がある。駅舎の鍋島ギャラリーを中核施設とし

たい。  
**質問** 中断されたままのゴルフ場に対して市の指導を。

**答弁** 政策経営部長

企業と個人の事であるが個々では限界があるので市として出来る限りの対応をしたい。

イノシシの捕獲の確認について

**質問** 捕獲頭数の確認と確認方法を検討するつもりはないか。

**答弁** 産業部長

14年度695頭。15年度1274頭と増加している。確認は今年度からは、とめ殺しをした上で頭を左、檻入口を左とし日付つきの写真を提出する。一部職員も出向くよう指導したい。

福岡県西方沖地震発生に伴う問題点について

高木 久彦

**質問** 地震発生後、固定、携帯電話とも通話ができなくなったが、こんな時、情報伝達するには、どうしたらよいか。

**答弁** 総務部長

地震後直ちに電話会社で、固定電話50%、携帯電話90%の通話規制が行われたことと回線が込み合ったためである。そんな時は、市役所、消防本部、分署、小中学校、公民館(山代)等の公共施設間で運用される「災害優先電話」、個人間では、安否等を録音で伝えることのできる「災害伝言ダイヤル」というシステムがある。

市民病院と社会保険浦之崎病院の統合について

**質問** 浦之崎病院との統合は、選挙公約を実現させる千載一遇のチャンスと思うが。

**答弁** 市長

浦之崎病院からの統合提案については、大きな課題

を抱えているが、実現の方向で協議を進めており、多くのハードルを越える必要がある。

全社連や社会保険庁の了解を得ること、どんな病院づくりをするか、構造、場所、建築費等多くの問題をクリアしながら決断をしなければならぬと思つている。

**質問** 決断の時期はいつになるのか。

**答弁** 市長

将来に汚点を残してはならないので、統合の実現が可能であると私が判断をし、議員各位の意見を聞きながら、これでいけると確証を得なければならぬが、平成18年3月をめどに、方向について決断したいと思つている。

市政ハンドブックは無駄使い

占野 秀男

**質問** 05年度の伊万里市当初予算が、市役所だより「予算特集号」として市内全世帯に配布されたが、同じ内容のハンドブックが別に作成されて議員にも10部

配布された。更に今後、区長や民生・児童委員、公民館などへも配布されるようだ。しかし伊万里市は財政再建中であり市民も職員も節約をしている最中なのに、肝心の市長部局が無駄な資料を重複して配布するのは無駄使いといわれても仕方ない。

**答弁** 市長

手帳サイズで資料として使いやすく持ち歩きに便利。伊万里市への来訪者などにも利用するのでご理解を。

**質問** 同内容の資料は全世帯に配布してあるから金のない時は考えるべき。また来訪者へも配布するというが、そのための資料なら内容的に不完全である。印刷費は11万程度だが、市内では10万円の援助がのどから手の出る程ほしいと訴える団体もあり、税金の使途については今日の財政状況をみれば慎重な配慮が必要だつたと思う。誰も言わなかったかも知れないが、市民サイドから見れば「無駄使い」と思われる様な使い方はすべきでない、と指摘しておく。



一般質問

学校内・登下校時の侵入者・不審者に対する安全対策について

内山 泰宏

質問 安全対策は確立されていますか、また緊急時の保護者の携帯メールで送信するというサービスを開始されて2ヶ月になりますか。その課題はなんですか。

答弁 教育部長

4月より今日まで不審者との遭遇は4件の事犯を確認しています。安全対策には立哨指導、学校内の巡視、避難訓練、「さす又」の研究など行っています。緊急メール配信には各学校に情報管理者をつくらなければなりません。そのため研修会を計画しています。

質問 学校開放の中での安全対策を、今後どのように対応していかれますか。

答弁 教育部長

学校内において安全対策についてあらゆる方法から検討していきます。留守家庭児童クラブの緊急時の対応について協議会を設置し連携して取り組んでいきます。

大川内山に鍋島美術館の建設について

質問 今あります伊万里・有田焼伝統産業会館を改築して利用できませんか。

答弁 産業部長

後継者育成などの目的で建てられたものであり困難です。

答弁 市長

大川内山に鍋島美術館を建てる手法について、市ばかりでなく県と文化団体と検討する手法があるのではないか、地元で土地の確保が責任をもってできるのかどうかを願ひし、鍋島美術館を建てることに多角的に検討していきます。

中山間地域等直接支払制度について

川内 学

質問 今後のスケジュールと全体会議をどう進めていくのか。今までの制度との違い、又交付単価の仕組みも含め対策のポイントを重点に、官民一体となったイノシシ対策は。

答弁 産業部長

今後8月中に集落協定づ

くり、12月までに交付金申請交付要件を含めて進めていく。

又集落等の連絡、研修も設けていく。イノシシ対策も現在、電気柵、ワナ等を助成。

本市の市営住宅について

質問 久原北地区水面貯木場について、施設の有効活用策は、又浦ノ崎地区廃棄物処理用地はどのように考えてあるのかお尋ねします。

答弁 政策経営部長

貯木場については、地元市民また関係者と活用策を考え県と相談し、協議していく。

答弁 市長

浦ノ崎地区については、県にハード、ソフト面での整備を願ひし、川南造船跡も含め協議を願ひする。

伊万里港港湾計画改定について

質問 久原、楠久市第2市営住宅の現状と課題について、又今後立て替え時期の計画変更はあるのか。

答弁 建設部長

久原市営住宅は耐用年数を過ぎ、老朽化も進み、地元入居者の同意を得て建て替については、次の総合計画のなかで明確にしていく、又高齢者等対策についても今後の限られた財源の中で補修改善をしていく、又久原、楠久第2市営住宅の順で計画していく。

色覚バリアフリーについて

樋渡 雅純

質問 男性で20人に1人女性で500人に1人の割合で赤、緑の特定の範囲の色について、差を感じにくい、色覚障害者の実態と、ホームページ・パンフレットなどに対する取り組みは。

答弁 市民部長

実態の把握はしていないが、約1400人が推計される。HPの見直しも、今年度中にも実施していきたい。指針は、今後の課題として研究していく。庁内で啓発をはかり、刊行物には、配慮していく。

人と情報を結ぶ図書館について

質問 図書館の、今後の情報拠点サービスの拠点としての方向性について。

答弁 教育部長

電子・外部データベースの提供や講習会の開催も必要であり、大学などの、ネットワークにも取り組むたい。

スクールアドバイザー、カウンセラーの活用推進について

質問 16年度の相談件数、相手別の件数は。

答弁 教育長

全体の相談は1685件で、不登校に関するものは725件で減少傾向。相談相手は2000人を越え、教職員の増加が見られる。

質問 相談時間の減少とこれからの対応について

答弁 教育長

県内上位15校の占める割合が大幅に増え、各市町村への重点配置が変わった。本年度3月31日に、計6人の正式配置の知らせがあった。今後、青少年センターの相談員を学校の要請に応じ、支援していきたい。



## 議会改革あれこれ



### ★執行部への出席要請を解除

5月臨時会のひとコマ。地方自治法の規定により、市長以下執行部メンバーは議案等の説明のために議会に出席していますので、それ以外の時は出席する必要がありません。深夜にわたる議会空転時に市長、職員を足止めして批判を受ける議会がありますが、伊万里市議会では、議長裁量で対処することにしています。この写真は、議案等の採決後、議会人事の風景です。議会事務局職員以外、執行部席に誰もいないのがお分かりになりますか？

## (これまでに無かった風景)



### ★議会版 クール・ビズ

6月議会のひとコマ。市が始めた「軽装」に合わせて、議会も上着着用の規制緩和をしました。議場における服装規定は「品位を保持する服装とし、必ず議員き章をつける」とあるのみですが、これまで、ノー上着には踏み切れませんでした。実行してみると、普段はダークスーツ姿が多い本会議場が、いっぺんに明るくなったような気がしました。本会議場でのノー上着を認めている議会は、県内でもまだ少数です。

## 編集後記



また新たなメンバーでのスタートを切りました。県内市議会では遅ればせの創刊でしたが、号を重ねるごとに少しずつ工夫をしてきたつもりです。いかがでしょうか。

伊万里では一般質問のケーブルテレビ放映があるため、議会をご家庭で「傍聴」して頂く事ができます。でも、議会は一般質問だけではありません。市にとつての法律とも言える条例や、予算・決算の審査など、市民生活の全てに関わる事項を議論する場です。市民の皆さんからの付託を受けた議員が、どのようにチェックしているかについても、この市議会だよりでお知らせする責務を痛感します。

### 発行

伊万里市議会  
伊万里市立花町一三五五一  
☎0955-23-2111  
0955-22-1277  
E-mail: gikai@city.imari.jp

### 編集

市議会だより編集委員会  
印刷 山口印刷株式会社

## 残暑お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。  
議員一岡

